

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	南信州グリーン・ツーリズム特区事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	農業課		包含する細々目	1	6	1	3	22	1	326	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要	構造改革特別区域法						
		事業期間	15	年度～	年度	関連計画条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	農家(市民農園開設、どぶろく製造希望農家)企業、NPO法人(市民農園開設希望)	市民農園開設等の相談があった農家等の数(件)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
		どぶろくの製造相談があった農家等の数(件)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか) ・市民農園を開設してもらう ・農家民宿等での「どぶろく」の製造・提供してもらう	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
		市民農園開設数(件)	18目標	10	最終目標		
			18実績		19目標	13	↑
どぶろく製造免許取得件数(件)		23目標	15	23実績		最終目標達成年度	
	18目標	5	最終目標				
	18実績		19目標	5	↑		
	23目標	5	23実績		最終目標達成年度		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	国の構造改革特区制度における規制の特例を活かし、農村資源を生かしながら、農家民宿や市民農園など総合的なグリーン・ツーリズムを推進し、元気な地域づくりを支援する。	1. 市民農園開設支援(相談会の開催、需用者の掘り起こし、農地紹介) 2. 農家民宿等におけるどぶろくの提供支援(免許取得等) 3. 非農家の農への関わりのしくみづくり(農地取得等下限面積引き下げ:農業担い手地育事業との連携)	市民農園開設相談(回) どぶろく免許取得・製造指導・記帳指導等(回) 非農家の農業参入相談数(回)	4 5 5
	18年度の実績			
	19年度計画	1. 市民農園開設支援(相談会の開催、需用者の掘り起こし、農地紹介) 2. 農家民宿等におけるどぶろくの提供支援(免許取得等) 3. 非農家の農への関わりのしくみづくり(農地取得等下限面積引き下げ:農業担い手地育事業との連携)	市民農園開設相談(回) どぶろく免許取得・製造指導・記帳指導等(回) 非農家の農業参入相談数(回)	4 5 5

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	160	360
事業費計(A)	160	360	
人件費	正規職員所要時間	18年度 480	19年度 160
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,716	572
	トータルコストA+B	1,876	932

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	既存農業者の産出額(農業):億円	現状値	119.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
国の構造改革特区制度の創設が直接的な契機。規制緩和により、体験教育旅行、農家民泊、ワーキングホリデー等のグリーン・ツーリズムをさらに推進するとともに、農業者の高齢化・後継者難・遊休農地の増加等の農業が抱える慢性的な課題に対し、企業等の農業参入や市民農園での一般市民の農業への関わりを促し、農業・農村の活性化を図る。	市民農園の開設者の範囲拡大については、H17に法改正により全国展開されたが、交流人口の拡大・遊休農地の抑制の観点から、事業の必要性に変わりはない。 「どぶろく」製造については、引き続き構造改革特区の認定自治体でのみ実施が可能	市民の反応 H17年度は、市民農園についての農家等からの相談が多く、新たに8つの市民農園が開設された。また、農園の利用希望者からの問い合わせもあり、関心は高い。 農業委員会の意見 「農地取得等の下限面積引き下げ」については、地域の意見を汲みながら検討を進めてほしい。

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由) 体験教育旅行などの受入農家の拡充や、農家民宿等でどぶろくを提供することで、交流人口を拡大できる。また、市民農園の開設を増やし、遊休農地を活用するとともに、非農家が農業へ関わるきっかけづくりとなる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がある (その理由) 農業参入希望の企業等は、H18新規事業として「農業法人誘致・設立促進事業」の対象とするため、本事業の対象から除く		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由) 市民農園の開設やどぶろく製造免許取得に際し、制度上煩雑な事務手続きがあるため、市が関与しない場合、事業の達成に支障が生ずる。また、市民農園の開設・利用がなければ、その分遊休農地が拡大するおそれがある。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がある (その理由) 企業等の農業参入については、H18新規事業として「農業法人誘致・設立促進事業」に移管するため、本事業の意図から除く		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) <input type="checkbox"/> 統合可能 (類似事業名、理由) 農家の簡易宿所の許可取得については、南信州観光公社の業務として移管した。 本事業で実施していた、企業等の農業参入については、H18新規事業として「農業法人誘致・設立促進事業」に移管する。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由) 農業を取り巻く状況は厳しく、農家等がこの閉塞感を打破するためには、行政が積極的に関わり、農家民宿や市民農園開設などそのきっかけを与えつつ、支援を行う必要がある。		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由) 農業参入、市民農園開設に係る申請書作成や手続きのマニュアル化により事業に要する時間の抑制
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由) ・受益者 農家(農業法人)、NPO、企業 ・負担の程度 妥当

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	<p>実施年度 <b>具体化</b></p> <p>農業参入した企業に対する経営・栽培等のフォローについては、H18新規事業として「農業法人誘致・設立促進事業」において、担い手としての法人育成の中で実施する。 非農家の農業への関わり方のしくみづくりについては、H18新規事業として「農業担い手誘致・育成事業」、「飯田あくり実践塾事業」に引き継ぎ、担い手獲得に向けた総合的な取組を行う。</p>
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	再度PR周知を行い、どぶろく製造提供箇所の増加、市民農園の開設促進を図る。

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	<input type="checkbox"/> 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	